

2015年6月期 第1四半期

決算 補助資料

目次

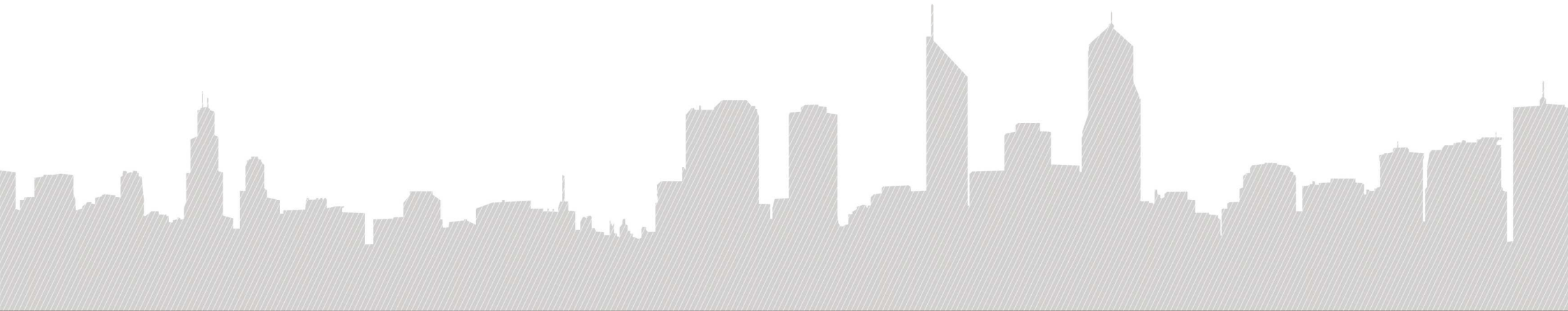
1. 1Qの業績について 3
2. セグメント別状況 11
3. 2015年6月期見通し 15
4. 今後の方向性 20

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

決算の概要

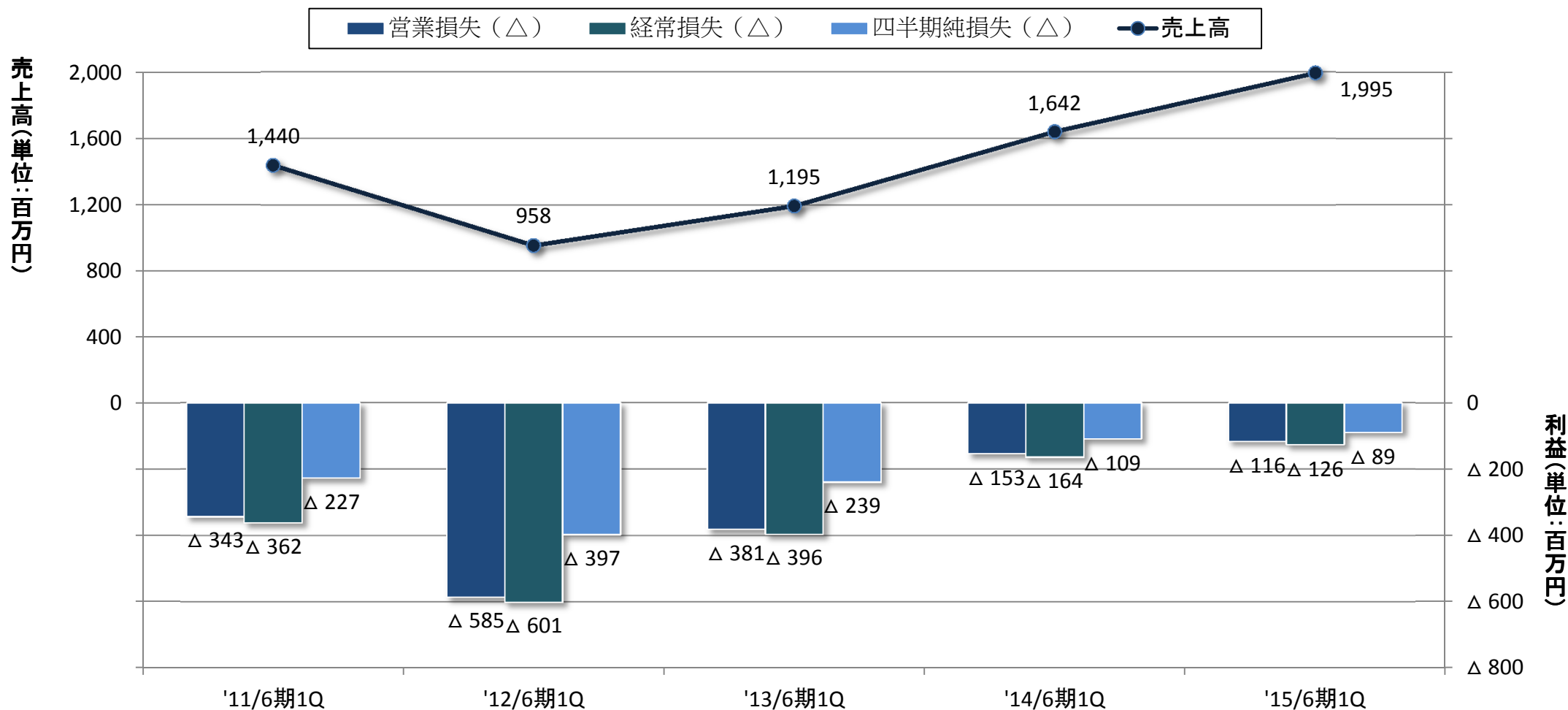


1 Q決算の概要

(単位:百万円)

	'13/6期 1Q	'14/6期 1Q	'15/6期 1Q	対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	1,195	1,642	1,995	352 (21.5%)
営業損失(△)	△381	△153	△116	37 (-)
経常損失(△)	△396	△164	△126	37 (-)
四半期純損失(△)	△239	△109	△89	19 (-)

1 Q業績の推移



⇒ 当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡し集中することから第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。当第1四半期累計期間の損失は、かかる季節変動による影響であります。

損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'14/6期 1Q	'15/6期 1Q	対前年同期 増減額
売上高	1,642	1,995	352
売上原価	944	1,169	224
売上総利益	698	826	127
販売費及び一般管理費	851	942	90
営業損失(△)	△153	△116	37
営業外損益	△11	△10	0
経常損失(△)	△164	△126	37
特別損益	—	△0	△0
税引前四半期純損失(△)	△164	△126	37
法人税等	△55	△37	17
四半期純損失(△)	△109	△89	19

<売上高>

エンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大による事業領域・顧客層の拡大に努めた結果、売上高は19億95百万円となりました。なお、当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集まることから、第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。

<売上原価>

品質管理のより一層の向上と不良プロジェクトの未然防止などにより、強固な収益構造の構築に努めております。

<販売管理費>

業務の内製化により販売費及び一般管理費の適正化に努めております。

貸借対照表ハイライト

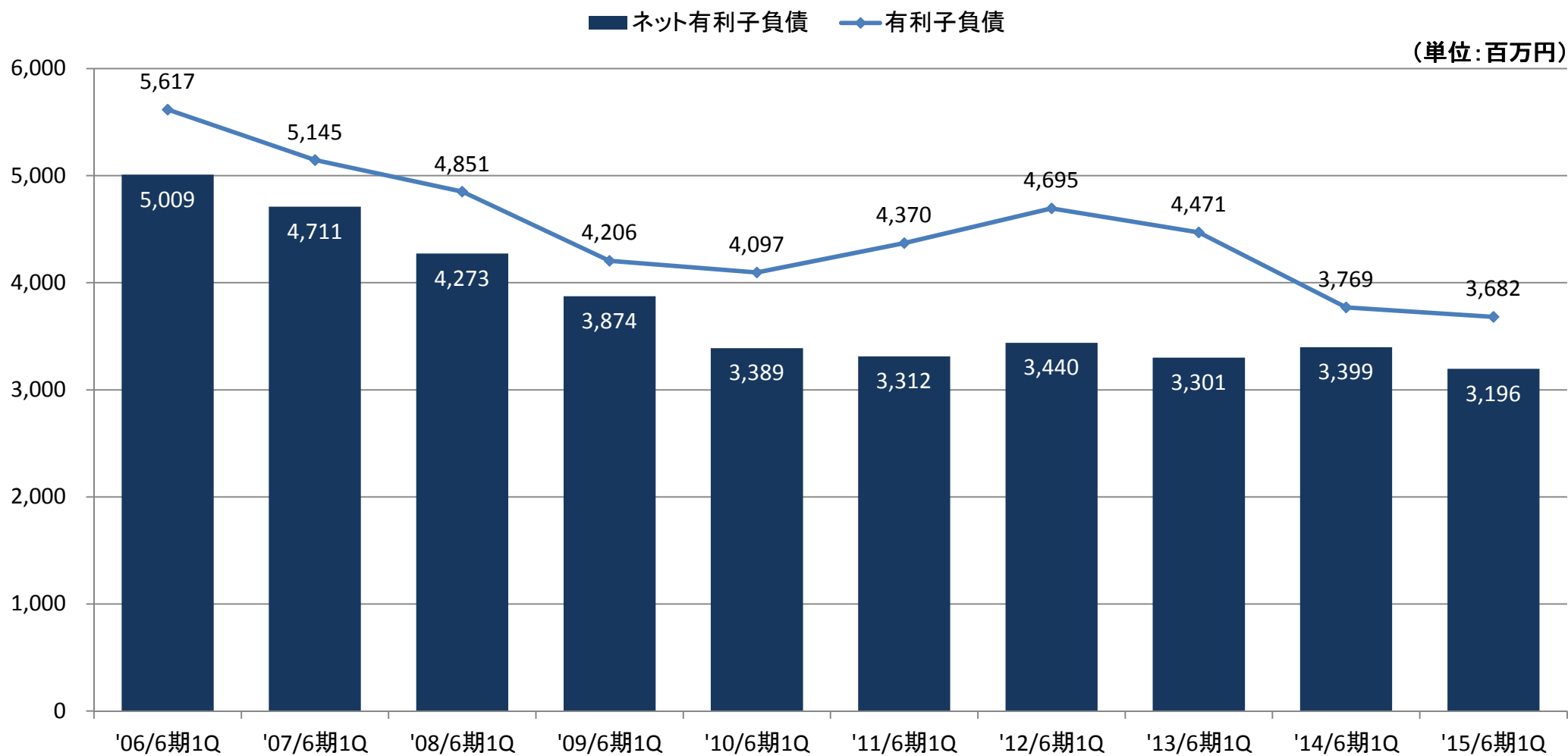
(単位:百万円)

	'14/6期末	'15/6期 1Q	増減額
流動資産合計	2,567	3,358	791
現金・預金	264	486	222
売上債権	1,109	1,407	297
固定資産合計	6,575	6,612	36
有形固定資産	5,119	5,099	△20
投資その他の資産	1,092	1,171	79
資産合計	9,143	9,971	828

	'14/6期末	'15/6期 1Q	増減額
負債合計	6,386	7,523	1,137
流動負債	4,566	5,566	1,000
短期借入金*	2,132	3,420	1,287
固定負債	1,819	1,956	136
長期借入金	292	262	△30
純資産合計	2,756	2,447	△309
負債・純資産合計	9,143	9,971	828

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

(参考) ネット有利子負債の推移

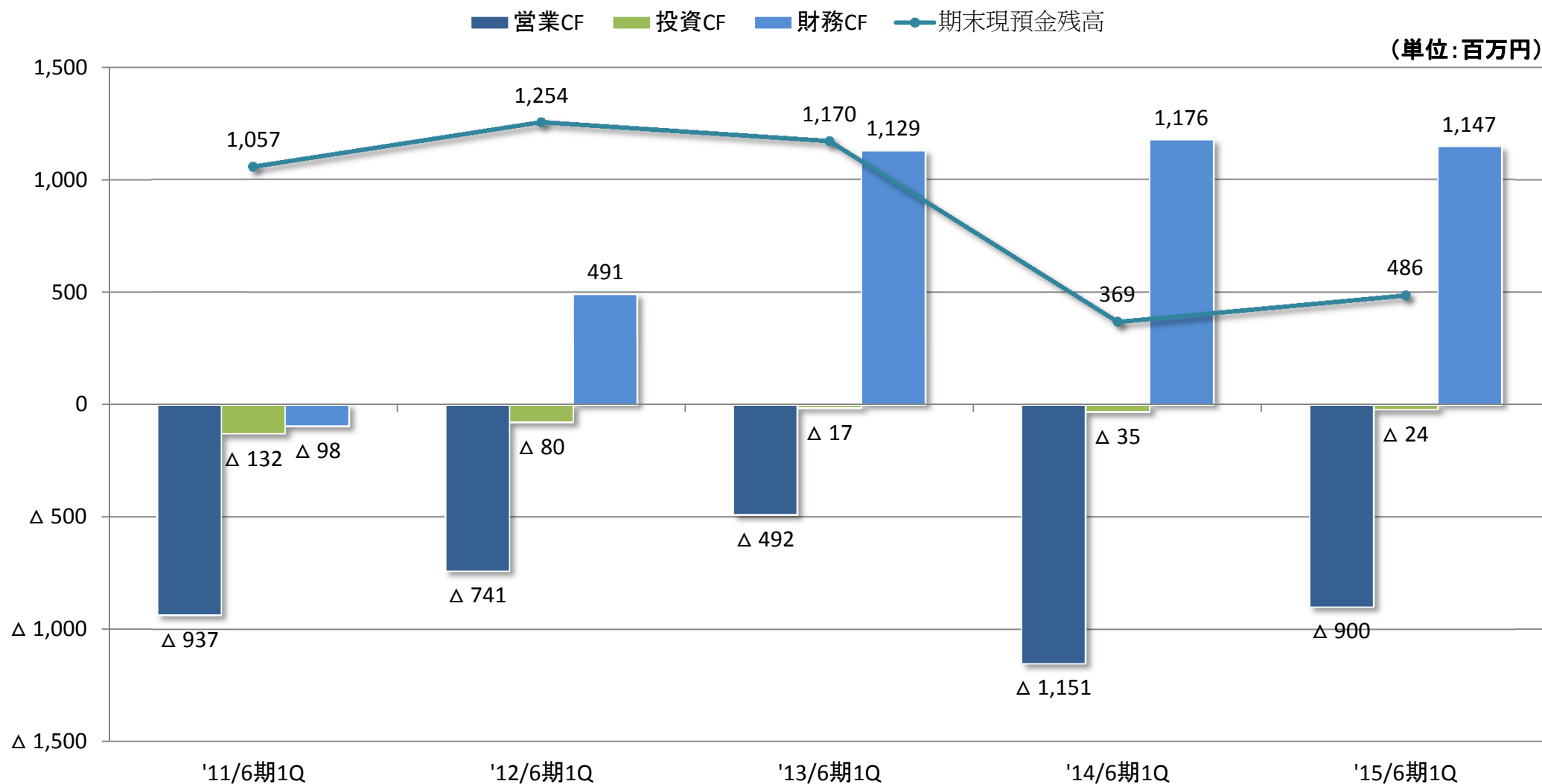


(参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位:百万円)

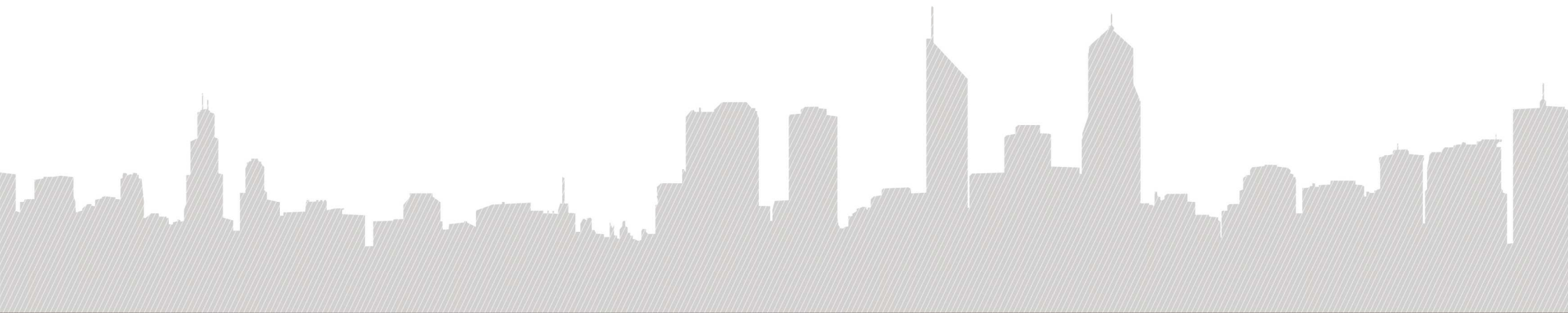
	'14/6期 1Q	'15/6期 1Q	【主な内訳】	
期首現預金残高	380	264	営業CF(△900百万円)	
営業活動CF	△1,151	△900	・たな卸資産の増加額	△226百万円
投資活動CF	△35	△24	・未払費用の減少額	△546百万円
フリー・キャッシュ・フロー	△1,187	△924	・法人税等の支払額	△199百万円
財務活動CF	1,176	1,147	投資CF(△24百万円)	
期末現預金残高	369	486	・有形固定資産の取得支出	△9百万円
			・無形固定資産の取得支出	△9百万円
			財務CF(1,147百万円)	
			・短期借入金の純増	1,350百万円
			・長期借入金の純減	△92百万円
			・配当金の支払	△141百万円

(参考) 過去5年間のキャッシュ・フローの推移



2

セグメント別状況



①エンジニアリングコンサルティング

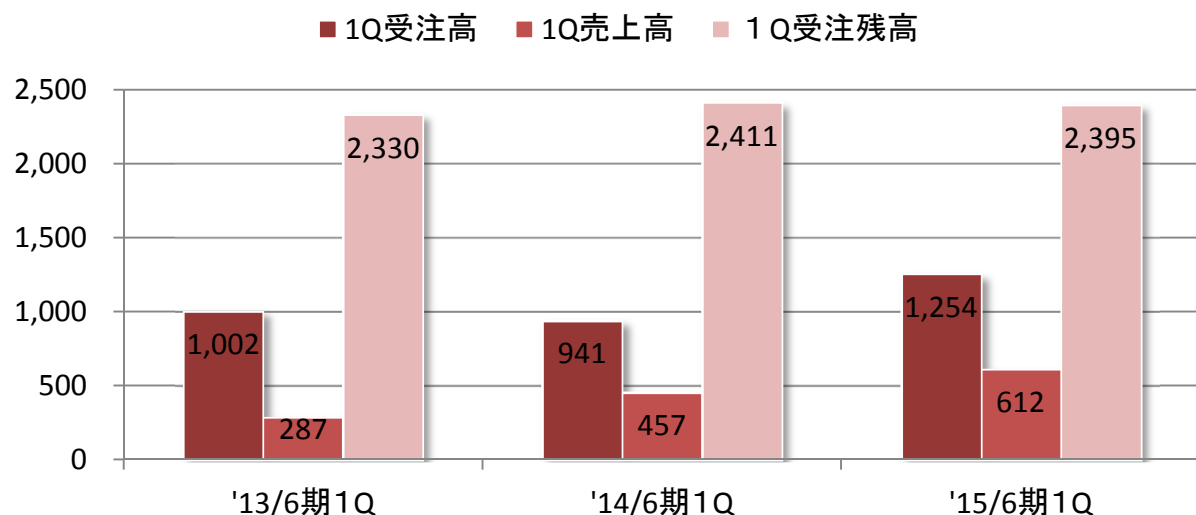
(単位:百万円)

	'13/6期1Q	'14/6期1Q	'15/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	1,002	941	1,254	33.2%
売上高	287	457	612	33.7%
売上総利益 (利益率)	120 (41.8%)	208 (45.6%)	248 (40.6%)	19.2%
セグメント利益 (利益率)	△108 (△37.7%)	△5 (△1.2%)	44 (7.3%)	—
受注残高	2,330	2,411	2,395	△0.7%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサルティング
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサルティング、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

業績分析

- 防災・耐震関連のコンサルティング業務、物流関連の最適化コンサルティング業務が好調
- 合意形成支援コンサルティング業務、ネットワーク関連のコンサルティング業務が堅調



②システムソリューション

(単位:百万円)

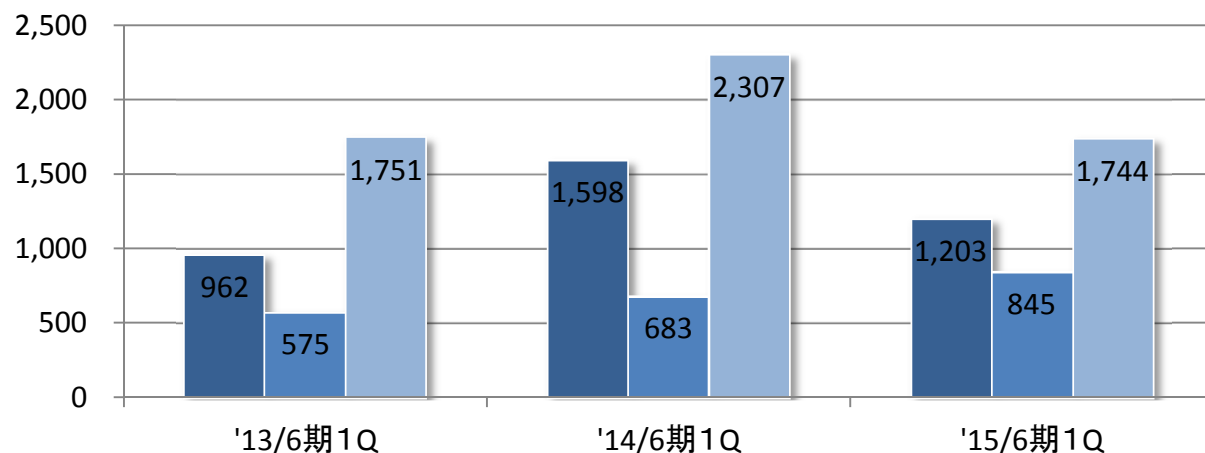
	'13/6期1Q	'14/6期1Q	'15/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	962	1,598	1,203	△24.7%
売上高	575	683	845	23.8%
売上総利益 (利益率)	204 (35.6%)	266 (39.0%)	341 (40.4%)	28.0%
セグメント利益 (利益率)	7 (1.3%)	96 (14.2%)	173 (20.5%)	79.6%
受注残高	1,751	2,307	1,744	△24.4%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

- 大手住宅メーカー向けのシステム開発業務が好調に推移
- 住宅設備メーカー向けシステムや製造業向けシステムなどの開発業務が堅調に推移

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高

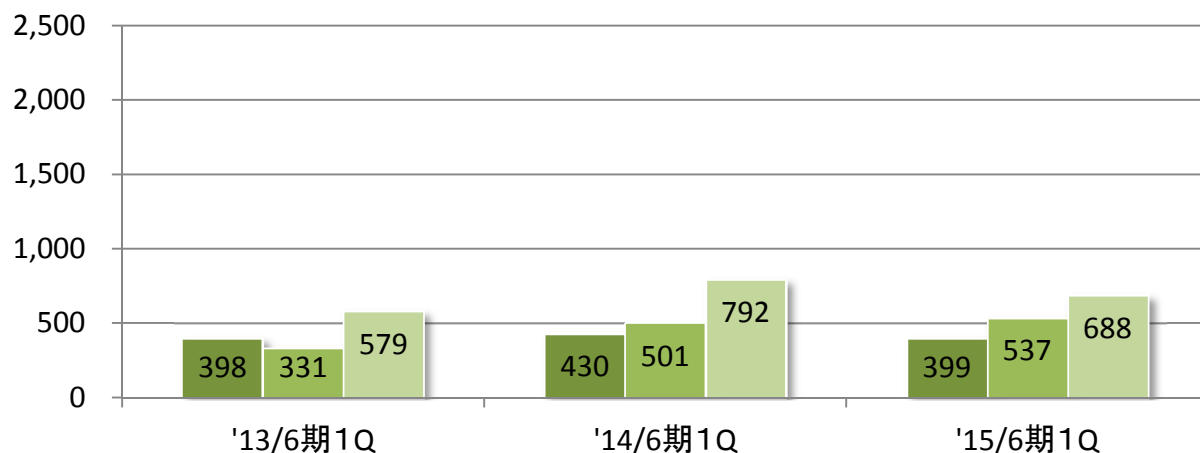


③プロダクツサービス

(単位:百万円)

	'13/6期1Q	'14/6期1Q	'15/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	398	430	399	△7.3%
売上高	331	501	537	7.1%
売上総利益 (利益率)	103 (31.3%)	223 (44.4%)	236 (43.9%)	5.8%
セグメント利益 (利益率)	29 (8.8%)	81 (16.3%)	80 (15.0%)	△1.6%
受注残高	579	792	688	△13.2%

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



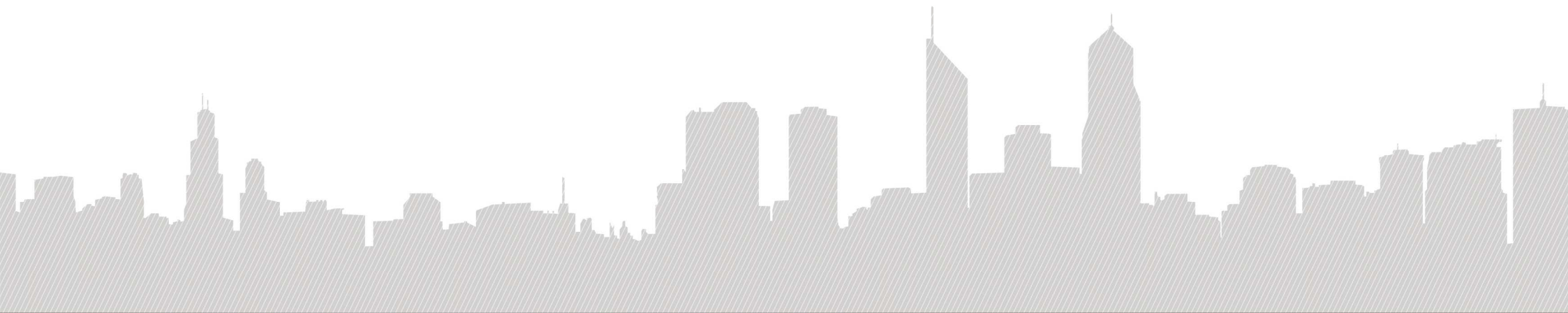
- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育・トレーニング

業績分析

- 設計者向けCAEソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、リスク分析・意思決定支援ソフト及び建築構造解析プログラムの販売が堅調

3

2015年6月期見通し



2015年6月期見通し

経済環境

消費税増税の駆け込み需要の反動の影響が大きく
海外情勢の悪化や中国経済の鈍化などリスクを軽視できない

当社の対面業界

住宅投資や設備投資が低迷しており
駆け込みの反動が和らぐ見通しだが先行きを楽観できない

- ① 品質管理のより一層の向上による強固な収益構造の構築
- ② 独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大
- ③ 大学・研究機関との共同研究及び独自技術をもつ国内外企業とのアライアンス拡大
- ④ 重要な顧客の情報を集約することによる、営業のスピードと効率の向上
- ⑤ 海外での事業拡大および人材の採用

高い顧客満足度と付加価値の向上を追求

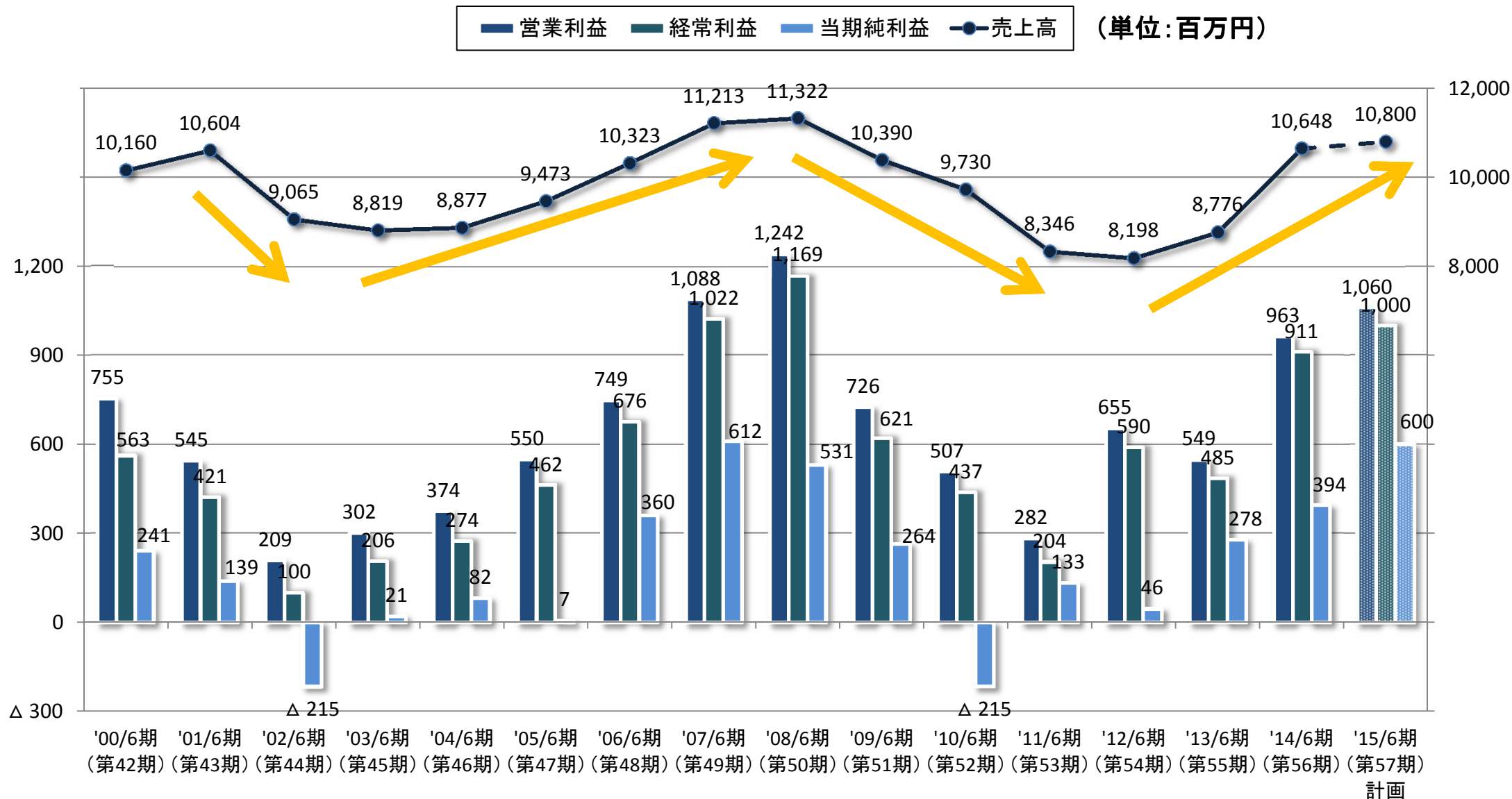
2015年6月期計画

(単位:百万円)

	' 14/6期	' 15/6期計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	10,648	10,800	151	1.4%
営業利益	963	1,060	96	10.0%
経常利益	911	1,000	88	9.7%
当期純利益	394	600	205	52.0%

配当金	@普通30 +記念5円/株	@40円/株
-----	------------------	--------

過去の業績推移と業績予想

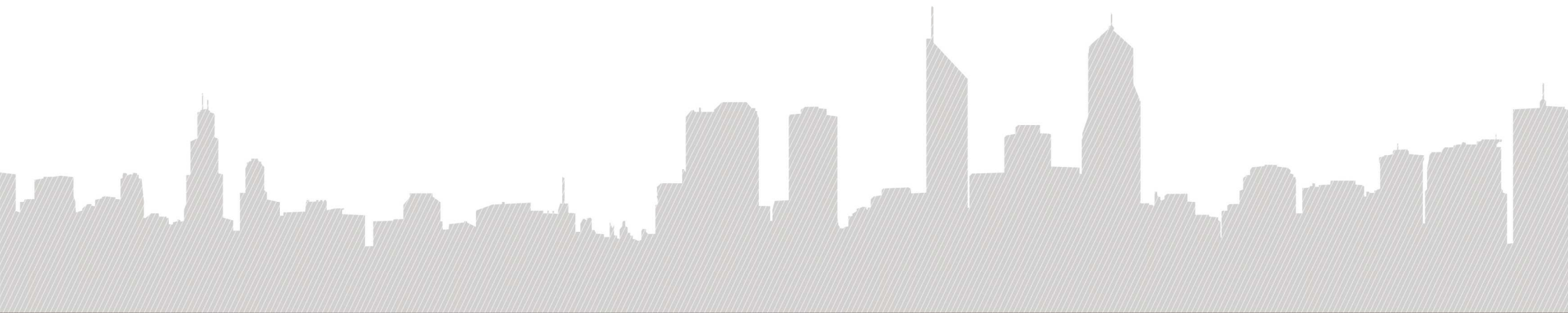


利益配分に関する基本方針

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識。
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

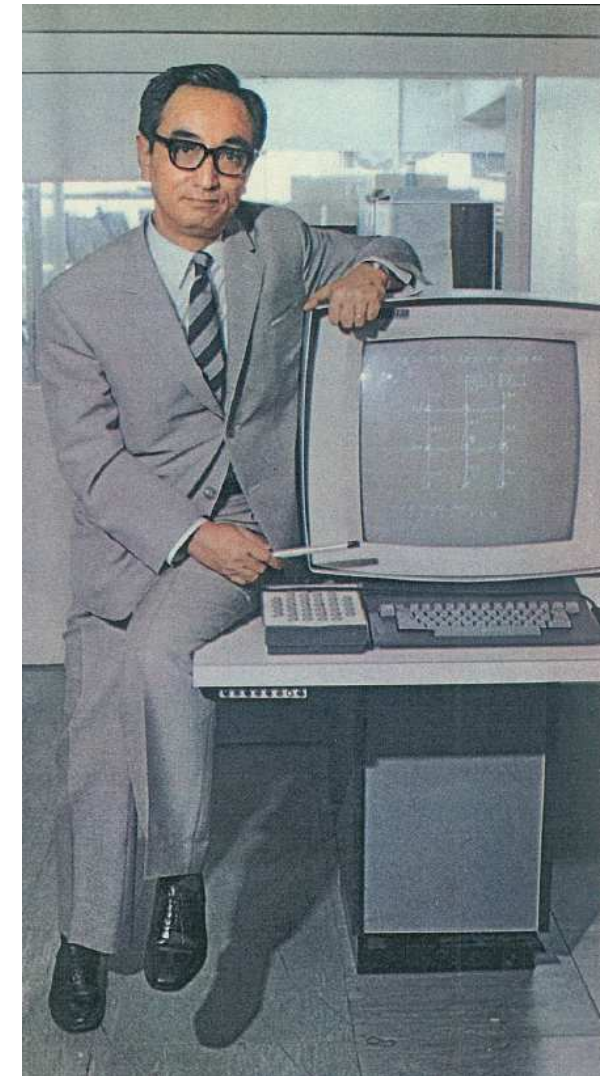
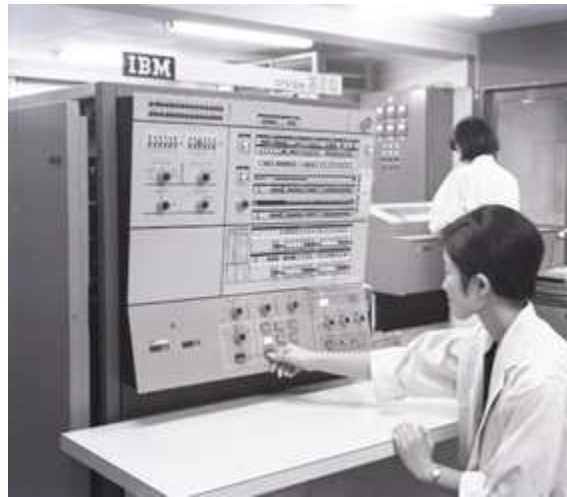
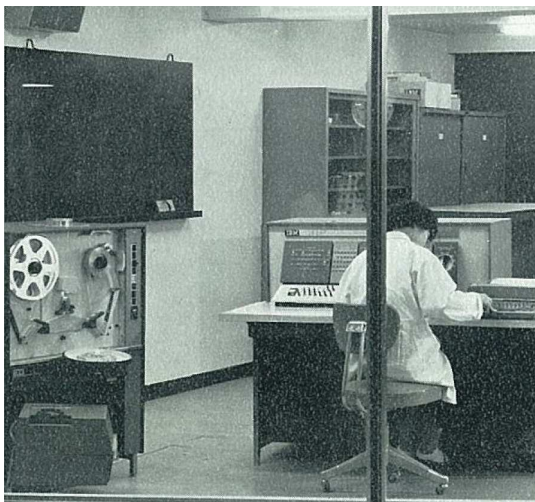
4

今後の方向性



設立55周年を迎えて

大学、研究機関と実業界とをブリッジする
デザイン&エンジニアリング企業として、
社会のあらゆる問題を解決し、
「次世代の社会構築・制度設計」の
促進に貢献する



創業者 服部 正（工学博士）

より良い社会の実現と高付加価値の提供

Public

技術コンサルティング企業として公的制度やルールの策定から参画

⇒風力発電施設の制度設計、地震対策の推進業務、無線通信技術の国際標準化調査など

Local

現場と同期しながら固有の課題を実践知によって解決

⇒防災計画支援コンサルティング、熊本プランニングセンター新設(日本郵船株式会社様と共同)、中野イノベーションオフィスの開設など

Global

日本企業の海外展開を支援するソリューションの提供

多様な文化・価値観を持つ海外パートナーとの協働・共創

⇒総合交通シミュレーション「PTV Vision」など

「Innovating for a Wise Future」

革新

叡智

未来

- ▶ 「イノベーション(革新)」を繰り返し行っていくことで、より良い社会を実現する
- ▶ 持続可能な幸せにつながる、人の「叡智」を基礎とする社会デザイン
- ▶ 互いを刺激しあうような、共創による未来社会構築

お問い合わせ先

【業績予想に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 構造計画研究所

広報・IR室(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>